



鶴が丘コミュニティと大学・学生群による
「未来づくり協働キャンパス」
プロジェクト

鶴が丘一丁目町内会
仙台白百合女子大学

1. 事業実施団体について

事業実施団体の概要

鶴が丘一丁目町内会

<団体の目的>

- 地域住民(1200世帯・3000人)の親睦と福祉の増進を図り、より良き居住環境をつくることをめざす。

<これまでの取り組み>

- 町内行事として夏祭り・敬老祝い・町内清掃・避難訓練等を行う。
- 近年は高齢者生活・子供学習支援など住民相互の支え合いによる地域活動を独自に展開する。

仙台白百合女子大学

<団体の目的>

- 明治26年私立仙台女学校設置
昭和41年仙台白百合短期大学設置以来、キリスト教精神に基づく女子の高等教育を行う。

<これまでの取り組み>

- 人間・福祉・健康・グローバル化をテーマに4学科から成る多角的な教育を展開する。
- 地域社会の産業・文化に貢献する諸活動にも積極的に参加する。

2. 令和3年度の実施内容

(1) 課題

【現状】

- 高齢化率40%・児童数減少・空家増大など地域全体のオールドタウン化が目立つ
- 居住者の多くが医療・福祉・買物・交通に対する生活不安を抱えている
- 隣近所とは挨拶程度が大半で、地域との繋がりは希薄化しつつある

【課題】

- 高齢者を中心に孤食・生活不活性化・フレイル・認知症など健康問題が深刻化する
- 外出しないと人との繋がりも益々消失し、子育て世代も共働きで地域関係も薄れる
- このままでは地域全体が沈滞化し、街の未来に赤信号が灯る危惧が避けられない

(2) 事業の目的

【最終的な姿】

- 住民コミュニティに焦点を当て、協働で支え合う住み良い地域づくりを目指す
- 子供から高齢者まで多世代が交流し、今後も住み続けられる未来づくりを目指す

【事業の目的】

- 高齢化した地域を活気づけるための若者参加によるまちづくり活動をめざす
- 健康づくりからスタートした地域と大学との連携を進め、多世代が繋がりが合って未来を見つめた地域づくりを進める環境形成の基礎固めをめざす

2. 令和3年度の実施内容

(3) 令和3年度事業の目標と実施状況

【住民の健康未来づくり】地域の健康リクレーション活動の実施

- 多世代が集える健康と食の交流・アウトドア交流・屋外イベントの開催
 - コロナ状況も考慮し、適度な規模・時間内での持続的活動を模索し実施する
 - 健康教室&食交流会【4回】花壇菜園交流会【毎月】屋外イベント【春秋冬】
 - 交流活動20回実施、子ども・学生・大人・高齢者など約250名参加

【若者の成長未来づくり】子ども達や学生達の学びと遊びの交流活動の実施

- 小学生の放課後学習・英会話・環境学習など次世代育成の地域交流の場の開催
 - コロナ禍でも一年を通して継続的に展開できる環境づくりを模索し実施する
 - お茶の間学習教室【毎週火・木曜計73回】遊び環境学習【春夏秋冬】
 - 交流の場80回開催、子ども・学生など約80名参加

【街の未来環境づくり】郊外の緑の環境活用と若者への街の魅力発信活動の実施

- 身近な緑の環境ツーリズムと若い世代を集客する街の広報活動の実施
 - コロナ禍でも身近に楽しめる散策環境を創り、地域内外に情報発信する
 - 緑地活用ワークショップ・広報誌・ホームページ発信【各3回】
 - ワークショップ・健康だより編集に住民・学生など20名参加

2. 令和3年度の実施内容

(4) 事業の実施体制

【鶴が丘一丁目町内会】

- 事業の企画運営と事務局業務
- 3つの事業内容の実施・町内会側の準備
(活動場所設営・住民参加募集など)
- 活動の町内広報・関係機関との調整

【仙台白百合女子大学】

- 事業の企画とコーディネート業務
- 3つの事業内容への企画参加・大学側の準備
(教職員派遣・学生参加募集など)
- 活動の大学広報・関係機関の調整

※外部団体との連携

- 屋外イベントの実施において子供会・老人会・地域サークル・高校等と連携
- 健康&食交流の実施において地区社会福祉協議会・地域包括・NPO等と連携
連携団体は10団体に及ぶ

2. 令和3年度の実施内容

(5) 事業スケジュールについて

- | | |
|-----|--|
| 4月 | お茶の間学習教室の開始
健康アウトドア夏季活動の開始 |
| 5月 | 屋外リクレーション・イベントの開催 |
| 6月 | 健康アウトドア環境学習の実施 |
| 7月 | 子ども学習学生英会話教室の開始 |
| 8月 | 健康アウトドア花壇菜園の環境整備 |
| 9月 | 健康アウトドア秋季活動の開始 |
| 10月 | ハロウィン散策イベントの開催
第1回健康教室・食交流活動の開始 |
| 11月 | アウトドア花壇交流イベントの開催
第2回健康教室・食交流活動の開催 |
| 12月 | 落葉拾い交流イベントの開催
第3回健康教室・食交流活動の開催 |
| 1月 | 学生ワークショップ会議 |
| 2月 | 活動の進捗評価・ホームページ編集 |
| 3月 | 第4回健康教室・食交流活動の開催
健康ワークショップだよりの発行
本年度事業のまとめ・報告会 |

(6) 使用経費について

事業費総額	329万円
仙台市助成金	296万円
団体自己資金	33万円
内訳	
・人件費	110万円
・専門家謝金	14万円
・学生等交通費	25万円
・用品・食材購入	89万円
・会場使用料	15万円
・印刷製本費	27万円
・通信運搬費	26万円
・HP等作成費	23万円

3 実施した取り組みの紹介

(1) 健康と食の交流教室

山城先生と学生による
健康講話と軽い体操

- 日時／10月11日・11月22日・12月20日・3月22日午前11時～
- 場所／鶴が丘プロムナード「anveycafe」コミュニティスペース
- 参加者／高齢者など15～20名 延べ70名程度(学生も7名)



健康教室



【良かった点】
コロナ渦での運動不足
解消と健康に気を配る
ひと時が体験できた

婦人部による
季節料理を
体を動かして
皆で味わう



食交流



3 実施した取り組みの紹介

(2) アウトドア健康交流



一年を通して畑・花壇の屋外環境を活用した健康活動を展開

- 日時／【4～7月】苗植え・水撒き・草取り【8～12月】野菜収穫・球根植【1～3月】土づくり
- 場所／鶴が丘緑地の花壇・菜園（公共緑地の活用）
- 参加者／町内住民（子ども・大人・高齢者）白百合大学生など80名程度



住民と学生達と一緒に屋外でドリンク交流

【良かった点】
コロナ禍でも活動が継続でき、
収穫時等には
学生達も含め
多世代の健康
交流が実現

3 実施した取り組みの紹介

(3) 屋外イベントの開催・遊びの交流

春「緑の広場遊び」

- 日時／5月30日(日)
- 場所／鶴が丘緑地ギャラリー
- 参加／子供・大人・学生70名

秋「ハロウィン・ピクニック」

- 日時／10月10日(日)
- 場所／鶴が丘緑地ギャラリー
- 参加／子供・大人・学生100名

冬「落葉と文化のイベント」

- 日時／12月12日(日)
- 場所／一丁目公園・鶴が丘緑地
- 参加／子供・大人・学生150名



学生のアイデアで工夫を凝らし季節ごとに身近に楽しめる屋外イベントを行いました

【良かった点】・環境の維持清掃と共に子供達も喜ぶ機会が演出できた
・高齢者も散歩の機会も増え、新たな活動が喚起できた



3 実施した取り組みの紹介

(4) 子どもと学生との学びの交流

集会所を活用した「お茶の間学習」

- 毎週火曜・木曜放課後 計73回開催
- 場所／一丁目集会所
- 参加／小学生・住民・大学生計40名



小学生と学生が姉妹のように
触れ合いながら楽しい学習！



宿題勉強



英語学習

自由学習



屋外での「環境体験」

- 一丁目公園・菜園
- ゲーム・野菜アート
- 学生企画・子供40名

環境学習



3 実施した取り組みの紹介

(5) 緑の環境ツーリズム

ワークショップ開催【11月～3月】住民・学生20名参加
 ●コロナ後の街の魅力アップ⇒「環境ツーリズム」提案



健康ワークショップだより

鶴が丘では多くの学生が、折々に地域の方と一緒に活動させていただきました。これまでの活動を通して「健康づくり」について感じたことを学生と共に伝えたいです。

仙台白百合女子大学
健康栄養学科 山城ゼミ
編者：グローバルスタディーズ学科

町内会と一緒に健康教室開催

コロナ感染が少なくなった昨年秋に、仙台白百合女子大学の山城先生による健康体操を開催しました。すわりながらも出来る簡単な体操で身体が柔らかくなりました。



コロナ禍で外出が減り、旅行も出来ない悩み

健康教室にご参加いただいた皆様に、学生から「日常生活で最近変わったことは何か」とアンケートしたところ、「外出が減り、旅行も出来ない」という声が多く聞かれました。コロナ禍により行動範囲が狭められ、制限された生活にストレスを感じている方も多いですね。【学生達も学校にも行けずオンライン学習でストレスの多い日々でした...】



一日に座っている時間はどれくらいでしょうか？答えは平均7.6時間！
 長時間の座りっぱなしは健康にマイナス…。改善のために外に出て歩きながら自然に触れてみましょう。

健康の為に散歩に出かけてみるのはいかがでしょうか。スマートフォンをお持ちであれば簡単に歩数を計って消費カロリーの計算もできます。歩数でポイントゲットも可能



野菜収穫



ハロウィーン



学習教室



落ち葉拾い

イベントで気分転換

鶴が丘一丁目では毎年行事が盛んです。コロナ禍で夏祭りもなかった昨今も季節ごとにイベントがあって楽しいですね。こども達・大人達、みんな笑顔で体を動かし、私たち学生も一緒に参加でき大いに気分転換になりました。コミュニティで交流する機会が健康づくりに良いようで、皆さんも是非参加してみたいいかがでしょうか！

鶴が丘ウォーキングで健康を！



鶴が丘一丁目には散歩を楽しめるスポットがたくさんあります！
 県民の森・スポパークもあります。遠出ができない今だからこそ近場の自然に触れてみませんか？



身近なツーリズムを楽しみましょう

【裏面】
ウォーキングMAP

広報誌・ホームページで街の魅力発信

鶴が丘1丁目町内会 会報145

令和3年6月11日発行

鶴が丘ライフ Tsurugaoka Life



掲載内容
 ・2021年振替内会活動に当たって町内会長より
 ・地区長、役員連絡。第1回役員会開催
 ・2021年度行事予定
 周辺の地域情報1
 ・仙台白百合女子大学との「環境まちづくり事業」の継続
 ・一丁目公園のメンテナンスとベンチが新しく
 ・早刈りボランティアの活動
 ・七尾田川クリーン活動への参加
 周辺の地域情報2
 ・花壇づくり活動
 ・健康づくり活動
 ・読書会活動
 ・総務報告

4 事業の成果と今後の展開

事業の成果と今後の展開について

【事業の成果】

- 高齡化が進む当地域に大学生が沢山来ることによって、定番的な町内会活動に新たな風を吹き込んでくれた。特にコロナ渦で町内行事が中止に追い込まれる中、学生との協働アイデアでもって新たな多世代交流を創り出すことができた。
- 外食や旅行などの戸外活動が控えられた昨今、身近な町内で学生達を交えた様々な地域活動を一年を通して開催でき、子どもから高齢者まで多くの住民が集い、皆と一緒に健康的な安らぎを体験できる絶好の機会になった。
- 普段から見慣れた町内の環境も、身近な健康づくりに上手く活用していくことで街の魅力となり生き生きとした未来の環境づくりに繋がることが分かった。

【今後の展開】

- これからも学生達の若者参加を引き続き進め、新たな発想も盛り込んだコミュニティ活動を更に繰り広げていく。学生センスで作成した町内会ホームページも活用し、若者と住民が交流する街として広く情報発信していく。
- 若者との交流により住民も活気づき、若者も活躍できる街としてアピールでき、将来的には若い世代も転入し町内全体が「若返る」をモットーに「未来づくり」を希求する更なる活動に取り組んでいく